



# 新しいIPv6アドレス配布方式の 必要性

NTT情報流通プラットフォーム研究所  
藤崎 智宏

# 現在のIPv6アドレスポリシ

- 基本的にはプロバイダ(インターネットユーザ)向け
- 前提
  - “顧客に配布する”こと
  - “(ISP)サービス”に利用
  - (明記はされていないが)ルーティング必須

# IPアドレスを“タグ”として利用

- RFID, Auto-IDでの利用など、“いろいろなもの”にアドレスをつけたい
- 製品の識別番号として利用したい
  - 家電製品等の顧客管理
  - リモートメンテナンス

そもそもIPv6の利用法の一つとして想定されていたことじゃない？

# とはいえ...

- ルーティングは？
  - IPアドレスをタグにしたとして、通信はどうするの？
    - 基本的に、IPアドレスはルーティングとは切り離せない
- IP層でやる必要はあるの？
  - 上位層で別なプロトコル作る方が素直じゃない？
- 64bitじゃ駄目？
  - 今の範囲で使える

# IPv6アドレスタグ

- ルーティング
  - モバイルIPのようなもので技術的には解決はできそう
    - ホームアドレスオプションの利用  
組み込み系の機器に乗るのか？
- IP層での必要性
  - IP層で簡単にやれば、組み込みも楽、利用も簡単にできる可能性がある
- “ベンダID”として、ベンダが自由に(独立に)使える空間があると便利？

# IPv6アドレス「タグ」配布に向けて

- 家電、RFID等の利用シーン、本当にやりたいことは何か
  - それによって最適な方法が決まるはず
- 世の中を「シンプルな方法」で、「便利」にするためにIPv6インターネットを利用したい
  - 今までのインターネットの取り決めにとらわれずに！



**IPv6アドレスの利用法について、いろいろなご意見をいただけると幸いです。**